

平成30年度

橋梁技術発表会及び講演会

参加費無料
定員 **350** 名
申込先着順

会場 仙台国際センター2F 桜

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地
Tel.022-265-2211

平成30年

日時

11

金

16

13:00～16:50

13:00～13:10

開会の辞

一般社団法人 日本橋梁建設協会
会長 坂本 眞

第1部:技術発表会

13:10～13:50

1.「合成桁の設計例と解説」の改訂について

～こんなに変わった合成桁の設計～

設計小委員会 設計部会 中嶋 浩之

13:50～14:30

2.ロッキング橋脚を有する橋梁の大規模地震対策

～名神高速道路 追分橋耐震補強工事～

架設小委員会 架設部会 志熊 隆

14:30～14:40

休憩

14:40～15:20

3.もう腐食なんかこわくない!

～適切な維持管理と対策で鋼橋は守れる～

保全委員会 保全第1部会 稲田 博史

15:20～15:35

橋建協報告

～これからの墜落事故防止対策～

安全委員会

15:35～15:45

休憩

第2部:特別講演会

15:45～16:45

「H30 東北地方整備局の取り組み」

東北地方整備局
技術調整管理官
樋口 和則



16:45～16:50

閉会の辞

橋梁技術発表会 実行委員会
副委員長 内海 靖

申込方法

ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>
の「技術発表会申し込み受付」まで
(受付は平成30年10月5日～11月2日)

申込期限

平成30年11月2日(金)

連絡先

一般社団法人 日本橋梁建設協会 東北事務所
〒980-08201 仙台市青葉区中央3-2-1 青葉通プラザビル
横河ブリッジ内 TEL 022-262-4855

継続教育

CPDS認定予定

他 地 区

大阪地区は	10月 5日(金)	ドーンセンター
中部地区は	10月12日(金)	東建ホール・丸の内
九州地区は	10月26日(金)	インソラNTT夢天神ホール
北海道地区は	11月 2日(金)	北海道経済センター
東京地区は	11月21日(水)	銀座プロッサムホール

にて開催です。

(6地区開催ですが、発表テーマは異なります)
申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

技術発表会(第1部)の発表原稿(論文)及び発表PPTは、当日配布をしております。ホームページに掲載しますので、必要に応じて各自ダウンロードして持参して下さい。

アクセス



●仙台市営地下鉄東西線「国際センター」下車 徒歩1分

1 「合成桁の設計例と解説」の改訂について

～こんなに変わった合成桁の設計～

「合成桁の設計例と解説」は、鋼橋設計の入門書として多くの方々にご利用頂いておりますが、この度、H29年の道路橋示方書改定に合わせて13年ぶりに改訂いたしました。今回の道示改定では、設計供用期間として100年を標準とすることが定められ、設計手法も従前の許容応力度設計法から部分係数設計法へと大きく変わりました。また、設計に求められる要求性能も耐荷性能、耐久性能、その他性能に大別され、耐荷性能の照査については、最大断面力を二つの限界状態で照査するなど、今までになかった全く新しい概念が導入されています。これらに準拠した改訂版のポイントや留意点について執筆者が分かり易く解説します。

2 ロッキング橋脚を有する橋梁の大規模地震対策

～名神高速道路 追分橋耐震補強工事～

本橋は、名神高速道路の一部として昭和37年に建設された鋼3径間連続非合成箱桁橋である。両端部支点はRC逆T式橋台により、2箇所の中間支点は鋼製のロッキング橋脚により支持されている。架橋位置は滋賀県大津市の西部で、交通量が非常に多い国道1号並びに京阪電鉄と立体交差している。

本工事では、ロッキング橋脚を水平力が負担できる新設の鋼コンクリート複合橋脚に改築し、既存支承を免震支承に取替え、上部構造の慣性力を各下部構造に分散させ、長周期化とエネルギー吸収による減衰の向上により、レベル2地震に対応できる免震構造に改良した。

3 もう腐食なんかこわくない!

～適切な維持管理と対策で鋼橋は守れる～

鋼にとって腐食(酸化)は自然現象であり、その備え、対応は鋼橋の維持管理上の永遠のテーマである。しかし、防食を考慮した構造の採用、適切な維持管理を行うことで腐食を防ぐことは可能であり、たとえ腐食が進行したとしても鋼橋は補修・補強が十分可能である。「もう、腐食なんかこわくない!」と題して適切な維持管理方法、補修・補強の事例を紹介いたします。

特別講演会 講演者紹介

「H30 東北地方整備局の取り組み」

樋口 和則 東北地方整備局 技術調整管理官

講演概要

日本全体の生産年齢人口が減少する中、地域を守る建設業の担い手不足、技術の伝承など危ぶまれる状況であり、災害対応やインフラ整備・メンテナンス等の役割を今後も果たし続けていくためにも、建設業の働き方改革を一段と強化するとともに、品質を確保し、生産性を高めていく必要があります。

このような課題に対応するため、東北地方整備局で取り組んでいる最新の話題について提供します。

一略歴一

2013.4 東北地方整備局 道路部 道路管理課長
2015.4 東北地方整備局 酒田河川国道事務所長
2016.4 東北地方整備局 道路部 道路情報管理官
2018.7 現職

平成30年度

11月16日(金)

橋梁技術発表会

[東北地区]

参加申込方法



一般社団法人 日本橋梁建設協会
Japan Bridge Association Inc.

ホームページよりお申込み下さい。

<http://www.jasbc.or.jp/>

「技術発表会」
の申し込みはこちら。